

目 次	
P1	公益社団法人 日本技術士会 栃木県支部 平成30年度年次大会報告
P2	講演会の報告
P4	新合格者歓迎会・懇親会
P5	フェスタmyうつのみや報告
P6	平成30年度栃木県支部行事予定表
P7	栃木県支部広場 連絡事項
	コラム
	広報委員長のよもやま話
P8	協賛団体の紹介 「富士コンサルタンツ 株式会社」

公益社団法人 日本技術士会
 栃木県支部 平成30年度年次大会報告
 支部幹事 稲葉 茂

1. はじめに

平成30年6月9日、日本技術士会栃木県支部の年次大会がニューみくら（宇都宮市）で開催された。公益社団法人日本技術士会栃木県支部は、発足後6年を経過し、今回は栃木県支部としては7回目の年次大会にあたる。

年次大会には31名の技術士が出席し、その後の講演会、報告会、新合格者歓迎会、懇親会には茂呂県産業労働観光部長はじめ部長等来賓を含め、5名の新合格者、協賛団体を含めて四十数名が参加した。

2. 議事次第

司会は福田副支部長、久芳副支部長の開会宣言で始まり、以下の内容で議事進行した。

(1) 支部長挨拶

県支部として発足して6年が経過。菅井、小黒前支部長のご尽力により支部活動が充実、発展しており両氏に感謝する。

29年度実績として3点を挙げる。

- ①組織の改編：昨年4月より新幹事15名の新体制でスタートし、組織の見直しに着手した。
- ②特別役職制度の創設：支部内に顧問制度を設け田中・菅井・小黒・柳瀬の4名に委嘱した。
- ③委員会の新たな展開：桜サイエンス事業が採択され浙江省訪問団を迎え入れた。新たに「浙江同済科技職業学院」と覚書を締結した。

今後とも会員の協力のもと、活動を充実していきたい。



黒須支部長あいさつ

(2) 報告事項

1) 平成29年度事業経過報告、収支実績及び監査報告

久芳副支部長より平成29年度事業経過報告（概要）があった。新井総務委員長より平成29年度収支実績報告があった。また、監査結果が井本監査員によって報告された。

2) 平成30年度活動方針について

黒須支部長より、「本部や関東8県支部と連携して、栃木らしい支部活動を展開していく」。県支部の基本方針として、①“会員の顔の見える会”をモットーに、会員の拡大による支部の強化。②“地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋”となるよう市町等が抱える課題に対して社会貢献活動を展開する。③中小企業を支援する業務の拡大を図る。④中国浙江省（対外科技交流中心・同済科技職業学院）との交流継続。⑤幹事は4S（Speedy、Strategic、Sensitive、Smile）を心がけ、本会の活性化に努める等の活動方針が示された。

3) 平成30年度委員会事業計画（案）

総務委員会新井、企画・研修委員会宮下、企業

支援委員会篠原、広報委員会西谷、国際委員会福田、地域企業支援小委員会篠原、地域支援小委員会稲葉、環境支援小委員会川上、の各委員長から、それぞれの委員会活動について平成 29 年度実績と平成 30 年度計画の説明があった。

また、田仲支部最高顧問より「第 48 回日韓技術士国際会議（兵庫・神戸）」の案内と第 49 回同会議が韓国・麗水で開催されることが紹介された。

4) 平成 30 年度栃木県支部収支予算計画(案)

新井総務委員長より平成 30 年度収支予算の説明があった。

3. おわりに

久芳副支部長の閉会宣言で無事終了した。



年次大会の様子

講演会の報告

支部幹事 篠原正美

平成 30 年度（公社）日本技術士会・栃木県支部の年次大会終了後、栃木県の中小企業支援策を中心に産業支援活動及び概要について講演していただいた。参加者 45 名

テーマ：栃木県の産業政策について

講師：栃木県産業労働観光部長 茂呂和巳 氏



茂呂氏は、本年 4 月に産業労働観光部長に就任された。同部次長、工業課長等を経て産業労働観光部事業に長年携わり事業の計画立案から推進まで行ってこられた。

講演は、産業労働観光部の主な活動についての最近の施策動向などを交え、栃木県の産業全体に及ぶ内容豊富な興味ある講演であった。

初めに、基本となるまち・ひと・しごと創生総合戦略の概要と 15（イチゴ）戦略について説明された。15 戦略とは、2015 年に発案され栃木県特産物のイチゴにかけた呼び名とのことである。戦略立案にあたり、最も憂うべき問題として栃木県の人口減少の問題が指摘された。栃木県の人口予測では、2060 年（平成 72 年）に 120 万人を下回るとされているが、15 戦略下においては 150 万人の人口を確保することを目標に諸施策が立案されている。

基本目標として 4 つの目標（①栃木に安定した仕事を作る、②栃木への新しい人の流れを作る ③栃木で結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える ④時代に合った地域を作り、栃木の安心な暮らしを守る）をあげ、若者の定着、雇用の創出、女子学生の U ターン促進など重点的に取り組んでいるとの説明がされた。その 15 戦略は次のとおりである。

◆基本目標 1

とちぎに安定したしごとをつくる

戦略 1 ものづくり県の更なる発展と新産業の創出

戦略 2 成長産業へ進化する農業の確立

戦略 3 林業・木材産業の成長産業化

戦略 4 国内外からの観光誘客強化

戦略 5 多様な人材が働きやすい就労環境づくり

◆基本目標 2

とちぎへの新しいひとの流れをつくる

戦略 6 地元とちぎへの若者の定着促進

戦略 7 立地環境を生かした企業誘致の推進

戦略 8 とちぎへのひとの還流の推進

◆基本目標 3

とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

戦略 9 結婚支援の充実

戦略 10 妊娠・出産支援の充実

戦略 11 子ども・子育て支援の充実

◆基本目標 4

時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る

戦略 12 暮らしやすいとちぎの「まち」づくり

戦略 13 地域をつなぐ広域連携の強化

戦略14 健康長寿とちぎづくりの推進

戦略15 地域包括ケアシステム構築の推進

さらに、県民が、豊かで元気に生活できる施策として、栃木県重点戦略「栃木元気発信プラン」が解説され、将来に向けた安心・安全な生活基盤を作るための総合的施策として5年ごとに作成されているなどの大筋の説明がされた。

栃木県の産業構造についての説明では、好調な産業活動が続いており、県内総生産は全国16位（総生産額9兆0,163億円）製造品出荷額は全国13位と健闘したこと、栃木県の産業構造の特徴は、製造業が総生産額の38.0%を占め全国平均18.4%を大きく上回っていること等説明された。産業別出荷額では、本県は日産自動車工業(株)、本田技研(株)、スバル(株)の重要拠点となっており輸送機械部門が全産業中トップの18.5%を占めたが、スバル(株)は、世界戦略の一環として航空部門への事業拡大中であり今後の展開が期待されている。

本県の経済の好調さは、一人当たりの県民所得(320.4万円)が東京都、愛知県、静岡県、に次ぐ4位であることから実証されている。

しかしながら、さらなる躍進を目指し、とちぎ産業成長戦略としての五つのクラスター形成事業の重点プロジェクトも進められている。特に、人材の育成・人材確保や先端ものづくり産業の育成・強化に取り組み協議会を立ち上げ会員企業の活性化と事業支援を推進している。各プロジェクトとも好調に推移しておりスタート時の数倍の会員数になっている。本プロジェクトの主要企業であるスバル(株)は、航空部門で全国4位、また本県の医療機器産業は全国2位、光学レンズは全国1位の販売額等、目を見張るものがある。

産業分野支援において最も注力している分野は、栃木県先端ものづくり産業の、航空機、医療機器、次世代自動車等であり世界レベルでの二つの顕在化に期待をかけている。

医療機器分野では注射薬製造工場の進出とその付加価値に大きな期待が寄せられている。

また、栃木県の特筆すべき農業部門では、日本一のイチゴ、二条大麦等の特産物があり、JETROの協力を得て海外販売にも注力している。設立10年を迎えるフードバレーとちぎ協議会は、当初の会員300社より現在は870社に増え活発に活動している。

新たな成長産業の振興にも力を入れ、「ヘルスケア関連産業の振興」「ロボット関連産業の振興」策なども推進している。ヘルスケア関連産業は、業態範囲は広いものの国内市場規模が2013年の16兆円から2020年予測では26兆円へと著しい伸びが期待されることから「栃木ヘルスケア産業フォーラム」を平成28年に設置し活動を開始している。さらに、経済振興のために、中小企業による地域中核企業の認定と支援も行っている。個別企業支援では、一般応募形式から特定企業引き上げ形式へと変え、有望企業の掘り起こしに努め県内52社の認定をおこなったところである。

また、産業界の第4次革命と言われるIoT等を支える産業の成長支援にも取り組んでいる。

世界とのネットワークづくりは、ジェトロ栃木事務所と連携し県内企業の海外展開への支援に取り組んでいる。具体的には、国際見本市・商談会への出展支援やバイヤーの招へいを行い海外展開に意欲ある会社への支援である。同時に、海外都市交流も推進し、中国(浙江省)、米国(インディアナ州)、フランス(ヴォークリューズ県)、台湾(高雄市)などと文化・人材交流を行っている。最近では、ロシアが本県に非常な関心を示し経済交流をうかがっているとの報告もされた。

本県の経済好調の一因でもある企業誘致も非常に活発になり、全国6位の立地件数(41件)を占めるに至っている。企業誘致の条件である「アクセス性」「産業団地造成」「人材確保」等に恵まれ、今後も期待される場所である。特に、北関東自動車道、圏央道の効果が大きく、群馬県(全国2位)茨城県(全国4位)も同様に好調に推移している。圏央道の効果は、関西圏へのアクセスを容易にし経済効果を押し上げていると分析された。

産業労働観光部の柱でもある観光産業分野は、来県観光客、宿泊者数、外国人宿泊者等、昨年は過去最高となり「とちぎ観光立県戦略」が奏功した形となっている。今年度は、4月から6月までの春のデスティネーションキャンペーンをJRグループ6社と協働し276のPR企画の展開中である。中でも、「とちぎ観光おもてなし条例」に基づく「おもてなしいちご隊」への登録者は予想を大きく超え42,956人となっている。更なる本県の知名度向上のために、関西圏における観光物産情報発信、企業誘致等の関西拠点として大阪に大阪分室を開設した。

将来への備えは、地域企業支援ネットワークによる事業継承支援、創業支援、経営力向上支援、サービス産業部門にあつては「経営革新計画」に基づく補助金助成等を創設している。人材育成面では、昨年、栃木県で実施された「とちぎ技能五輪・アピリンピック 2017」において本県選手団が優秀な成績を収め本県初の「優秀技能選手団賞」を獲得したことで、今後も技能選手の育成強化を継続し栃木県のものづくり競技会の開催に発展させることを計画している。

将来の人材確保に関する施策は、県外移出大学生などのUターンを推進すべく「UIJターン就職支援」による就職活動支援、奨学金返還助成等を行っている。しかし、本県出身学生の県内企業に対する認知度は低く対策が必要となっている。また、産業界と協力し設けた「とちぎ未来人材応援資金」による奨学金助成に至っては年間50人の募集枠にも関わらず10~20人の応募であり課題を残した形となっている。

県民が生き生きと“快く”仕事と家庭を両立できる環境づくりのため、「働き方改革」「女性が輝く企業 ‘倍増’ プロジェクト」を推進し、本県において良質で安定的な雇用の創出に向け「地域活性化雇用創造プロジェクト」による雇用創造メニューを設定し、戦略的産業分野の成長への支援も行っている。

以上、大変有意義な産業支援事業について伺ったが、非常に広範で多岐にわたる事業展開に感銘した。また、県内経済は、時代の変化、国内インフラにより大きく影響を受けること等、改めて経済発展の難しさを認識した。経済の基礎は人であるが、日本の人口減少は始まっており、本県が打つべき有効かつ実効を伴う方策を日本技術士会・栃木県支部としても考えなければならないことを痛感した講演会であった。



講演会の様子

新合格者歓迎会・懇親会

支部幹事 新井 達雄

宴もたけなわの頃、新合格者の皆さんに自己紹介をしていただいた。

今回は、新技術士3名（左から建設、金属、生物工学）と新たに技術士を目指す技術士補の方1名（機械）の方々に参加をいただいた。

多くの皆さんが現役で活躍されており、それぞれの技術経歴が披露され、また、技術士のライセンスを今後 に活かすための抱負や支部における技術交流への期待が述べられた。

今回参加して頂いた皆様には、是非、日本技術士会に加入して頂き、新たな若い力によって、栃木県支部の活動が活性化し、より発展していくことを期待するところである。

そのためにも、我々現役会員が、魅力ある会造りに知恵を集結する必要性を痛感した次第であります。



新合格者4名



交流会・法各祝賀会のしめの挨拶（新合格者：木村氏）

フェスタmy宇都宮2017

「わくわくどきどきサイエンス」

支部幹事 西谷 元則

開催日時：5月20日（日）10：00～15：00

会場：宇都宮市中央市民センター 2階

出 展

- ・みらいの自動車教室
- ・コールモータ教室
- ・空飛ぶ植物のたね
「アルソミトラ紙飛行機教室」
- ・自然エネルギーソーラランタン作成教室

県支部スタッフ：黒須、久芳、川上、井本、松原、小黒、長山、富田、本田、西谷（10名）

フェスタmy宇都宮は、「市民の日」の記念イベントとして毎年5月の第3日曜日に開催され、当会県支部では5回目の出展となります。

私たちの出展は、中央生涯教育センターの理科教育に毎年参加しており、小学生を対象とした理科体験学習をテーマに上記の4つの教室を開催しました。

みらいの自動車教室は、事前予約制（AM、PM各20名）で募集しましたが、事前予約では7名ほどと聞いていました。これまでの事前予約ではほぼ定員に達していましたが、募集方法の変更したことから小学生に周知されなかったようです。参加した小学生の保護者からは「毎年チラシをもらってくるのに今年はなかった」などの声も聞こえてきました。

このままではせっかくの開催が残念な結果となってしまうことから前支部長の小黒氏がオリオンどおりまで出向き呼び込みを行って頂きました。その効果は顕著に現れ、各教室は大盛況となりました。

「アルソミトラ紙飛行機教室」は簡単な工作の紙模型で良く飛び、子供だけでなく親も歓声を上げて喜ぶ人が多く見受けられた。

支部スタッフは5月の連休に準備をしたこともあり、以下の参加人数でした。

教室名	準備個数	参加者
みらいの自動車教室	40キット	26名
コールモータ教室	60キット	10名
アルソミトラ紙飛行機教室	100枚	12名
ソーラランタン作成教室	ソーラ40個	40名



みらいの自動車教室



アルソミトラ
紙飛行機教室



コールモータ教室



自然エネルギーソーラランタン作成教室



体験教室キット準備の様子

平成30年度栃木県支部行事予定表

月	日	曜日	総務委員会	企画・研修委員会	広報委員会	国際委員会	企業支援委員会	地域社会貢献委員会	市貝町プロジェクト	CPD対象	
随時	—	—	月締め清算		ホームページ運営	奇数月中旬例会開催				—	
4月	7日	土	第1回役員会								
	8日	日						第1回環境支援小委員会・理科研究会			
5月	5日	土						フェスタmy宇都宮準備			
	12日	土	第2回役員会								
	20日	日						フェスタmy宇都宮			
6月	9日	土	年次大会 第3回役員会	講演会 合格者祝賀会	第1回 広報委員会					●	
	19日	火				第1回 国際交流研究会					
	23日	土							第1回会合		
7月	7日	土	第4回役員会				第1回 企業支援委員会	第2回 環境支援小委員会			
	15~16日		技術士二次試験								
	25日	水			会報11号 原稿締切						
	未定	—		第1回見学会			第2回 企業支援委員会	竹乾燥検討会		●	
8月	5日	日			会報11号 編集完了			TANOKURAコードモ展 準備			
	7日	火				第2回 国際交流研究会					
	19日	日			会報11号 発刊準備						
	26日	日						TANOKURAコードモ展			
	27~31日	月~金					桜サイエンスプラン 訪日団				
9月	8日	土	第5回役員会	9月研修会				第2回 理科教育研究会		●	
	9日	日						エンジョイカガク			
	30日	日						よささウオーク 2018			
	未定	—		技術者向CPD講演 会			宇大企業 交流会出展			●	
10月	13日	土	第6回役員会								
	16日	火				第3回 国際委員会					
	17日~19日	水~金				第48回日韓技術士 会議(神戸)				●	
	20日	土		(第2回見学会)					第2回会合	●	
11月	10日	土		科学技術講演会			第3回 企業支援委員会			●	
	11日	日	第7回役員会		第2回 広報委員会			第3回環境支援小 委(ECOテック準備)			
12月	2日	日						ECOテック&717 とちぎ2018		●	
	8日	土	第8回役員会	講演会 忘年会						●	
	15日	土			会報12号 原稿締切						
	18日	火				第4回 国際委員会					
	25日	火			会報12号 編集完了						
1月	20日	日			会報12号 発刊準備						
	未定	—					第4回 企業支援委員会				
2月	5日	火				第5回 国際委員会					
	9日	土	第9回役員会								
	10日	日		情報提供講座(日 時は未定)		浙江職業学院技術 交流(時期未定)					
	23日								第3回会合		
3月	9日	土	第10回役員会								

栃木県支部会報広場

【連絡事項】

- 7月22日の協賛団体のY&K コンサルタント代表の萩原良章さんが亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。
- 栃木県支部に「栃木県庁OB 職員技術士会」の協賛団体としてご協力いただくことになりました。
- 竹乾燥技術のスタッフ募集
現在は竹乾燥技術を特定の会員で模索しているところです。この技術の試作品を作成しモニタリングしていきたいと考えています。皆様のご協力を頂きたいと思います。他にも多くの活動を行っています。興味のある活動が御座いましたら広報委員会の西谷までご連絡ください。
- 9月研修会：講師 宇都宮大学 地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科準教授 藤倉修一氏
講演概要は、後日連絡しますが海外でコンサル経験あり。構造専門。
9月8日（土）ニューみくら 13時30分～16時30分
- 9月9日に開催のエンジョイカガクスタッフ募集・・・詳細は西谷まで。
- 秋の科学技術講演会の開催：11月10日講師 ㈱オプトニクス精密 社長 絹田 精鎮（工博）氏
場所 栃木県国際交流協会 多目的ホール（予定）

＝コラム＝（広報委員会 西谷元則）

国の重要文化財 日本橋（にほんばし）

今回は、栃木県内のコラムから離れて東京の日本橋を紹介します。

日本橋は、石造アーチ道路橋として技術的建構成を示す遺構として貴重なこと、土木家、建築家、彫刻家が協同した装飾橋梁としてルネッサンス式による橋梁本体と和漢洋折衷の装飾と調和を破綻なくまとめられており装飾的完成度が高いことから平成11年に重要文化財の指定受けました。

現在は、首都高速の下にあるが、首都高地下化の検討を本格的に始めるようです。

構造形式：石造二連アーチ（青銅製照明含む）

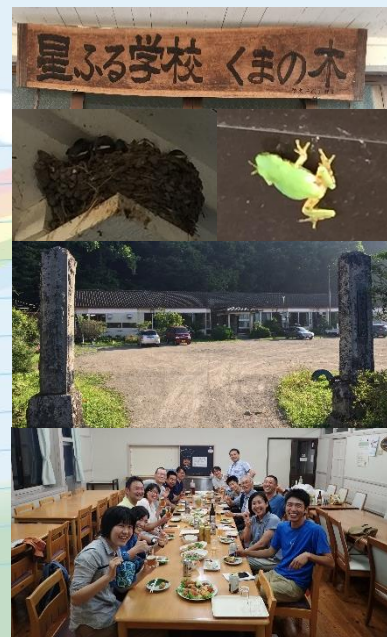
附 東京市道元標




広報委員長のよもやま話

6月上旬に函館の旅。なんと新幹線で青函トンネルを始めて通りました（感動薄し）。100万ドルの夜景を見て行きました。寒かった！朝食は「さくよ食堂の三種お好み丼」。さらに「いか」を探してはしご。どんぶり横丁で最後の1杯のいかをいかそうめん頂きました。さすが本場の味。帰りの五稜郭を見て終了。

右写真は、本県塩谷町の「星ふる学校くまの木」。環境教育関係の集まりに参加（単なる飲み会）。6月30日にヒグラシの鳴き声が聞きました。廃校を利用した宿泊施設で自然に囲まれた飲み会。最高なひと時でした。県支部でも宴会やりたいですね。



協賛団体の紹介

総合建設コンサルタント  富士コンサルタンツ株式会社

確かな技術で未来をひらく FUJI Consultants Co.,Ltd.

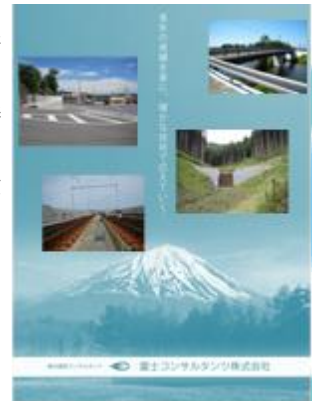
当社は、昭和34年に創設、平成31年には、60年を迎えることとなります。その間、東海道新幹線、東北新幹線、上越新幹線、東海道本線、中央本線、総武線、東北本線等の測量・調査・設計・財産整理業務に従事して参りました。現在は、東日本旅客鉄道に関連した業務に当たっております。さらに、新幹線の建設に伴い、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の現地機関に合わせ、財産整理業務の営業拠点として、各地に営業所(札幌・盛岡・北陸・高崎・福岡)を設け、顧客の要望にこたえるべく活動しております。

昭和58年には、地方自治体の顧客ニーズに対応べく、宇都宮市に事務所を開設。栃木県を中心とした自治体の土木設計業務に取り組み、平成7年には、宇都宮市に本社を移転しております。また、福島支店、仙台支店、山形営業所、秋田営業所を開設しております。地域の活性化を図る多極分散型の国家形成に依りて、県、地域の主体になって行う事業、地域づくりをモットーに、地域に根付いた経営を図り、地域と共に発展することを目指しております。

代表者名：代表取締役 石川 賢一
 所在地：栃木県宇都宮市元今泉4-18-10
 URL： www.fuji-c.co.jp
 E-mail： info@fujicons.jp
 TEL：028-635-2770
 創立年月日：昭和34年3月30日
 従業員： 56人
 業務内容：

- 〈土木設計〉
道路、橋梁、河川、砂防、上水道、下水道、鉄道、公園
- 〈測量〉
測量全般、鉄道事業に伴う測量
- 〈調査〉
橋梁点検調査、地質・土質調査、鉄道事業に伴う調査
- 〈財産整理〉

財産整理とは「鉄道設備の新設、改良に伴う固定資産の図面、台帳を整理し、保守、維持管理に役立てるための業務」
 鉄道関係では、現在までの全設備が整理されています。



協賛団体の紹介（五十音順）

当支部に協賛載している団体です。

株式会社 イケヤフォーミュラ	栃木県支部会報 7号紹介
宇都宮測量 株式会社	栃木県技術士会報18号紹介
株式会社 格和測量設計	
晃洋設計測量 株式会社	栃木県技術士会報12号紹介
株式会社 三和電機	
株式会社 真和技研	栃木県支部会報 10号紹介
株式会社 篠原設計	栃木県支部会報 11号紹介
株式会社 ダイミック	
株式会社 中央土木工学研究所	栃木県支部会報 創刊号紹介
東亜サーベイ 株式会社	栃木県技術士会報14号紹介
東洋測量設計 株式会社	栃木県支部会報 3号紹介
株式会社 トキタ・ac	栃木県支部会報 5号紹介
株式会社 栃木用地補償コンサルタント	栃木県技術士会報15号紹介
栃木県庁OB職員技術士会	
有限会社 那須化成	栃木県支部会報 9号紹介
日研測量 株式会社	栃木県支部会報 4号紹介
日昌測量設計 株式会社	栃木県技術士会報16号紹介
株式会社ピーシーレールウェイコンサルタント	栃木県支部会報 8号紹介
株式会社 富貴沢建設コンサルタント	栃木県支部会報 6号紹介
★ 富士コンサルタンツ 株式会社	
芙蓉地質 株式会社	栃木県技術士会報12号紹介
株式会社 水環境プランニング	栃木県技術士会報17号紹介
やまこ産業 株式会社	栃木県支部会報 2号紹介
人創り工房 Y&Kコンサルティング	

上記団体を順次ご紹介させていただきます。「★」は当号の紹介です。

編集後記

日本中が盛り上がったサッカーワールドカップもフランスの優勝で終わり、暑い夏を迎えているところ思います。

県支部でも、いろいろな活動を行っておりますが、活動メンバーの高齢化などにより人員不足な状況が続いています。6月に開催された年次大会では新合格者の祝賀会で4名の newface の活躍に期待したいと思っています。

話は変わりますが、先月の西日本豪雨で倉敷市真備町に大きな被害を及ぼし、多くの犠牲者を出しました。この場を借りて薄冥福をお祈りいたします。この豪雨は太平洋上に高気圧、中国大陸上空に低気圧がそれぞれ停滞し、梅雨前線が長時間停滞した結果、台風7号が水蒸気の通り道を作った影響といわれていますが、これも地球温暖化の影響による異常気象であると感じられます。今後このような異常気象が頻繁に発生する恐れがありますので防災意識を高め防災グッズを準備しておきましょう！

公益社団法人日本技術士会 栃木県支部 会報 第13号 2018年8月発行

発行者 栃木県支部（支部長 黒須 重富）

広報委員会：委員長 西谷元則

副委員長 谷口雅昭、長山八洲稔

委員 大島晃二、大岩正通、木村隼人

事務局 〒321-0954

宇都宮市元今泉5丁目9-7 宇都宮まちづくりセンター内

Tel：028-678-8600/Fax：028-678-8630